

eラーニングシステムの 概要と効果

首都大学東京
大学教育センター
准教授 北澤 武


本日の発表内容

1. eラーニングシステム
(Blackboard Academic Suite™)の概要
2. eラーニングシステムを用いた
授業の効果

2

eラーニングシステムの整備

- Blackboardラーニングシステム (Blackboard Academic Suite™)
<https://nl.spc.comp.tmu.ac.jp/>
(国内70件, 世界60か国約5200機関での導入事例(教育プラットフォーム以外を含む))
 - H18年度に試験的導入、H19年度から
学部1年生を対象とした情報基礎科目等で利用
 - 初年時に全学生が利用
 - 日本語, 英語, 中国語など多言語に対応
 - レディネス調査, 授業評価アンケートの実施
 - 結果の早期フィードバックを実現



3

ブラックボードの登録状況

<H19年度>

	ネットワークラーニング	非ネットワークラーニング	合計	ネットワークラーニングの割合
登録教員数(情リテI専任)	19	12	31	61.3
登録教員数(情リテI非常勤)	5	0	5	100

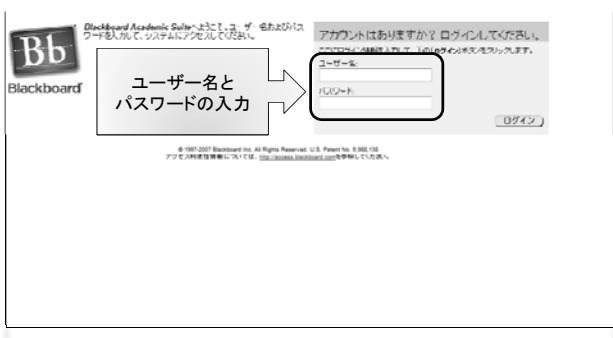
↓

<H21年度>

	ネットワークラーニング	非ネットワークラーニング	合計	ネットワークラーニングの割合
登録教員数(情リテI専任)	22	1	23	95.7
登録教員数(情リテI非常勤)	6	0	6	100


4

ログイン画面



6

トップページ

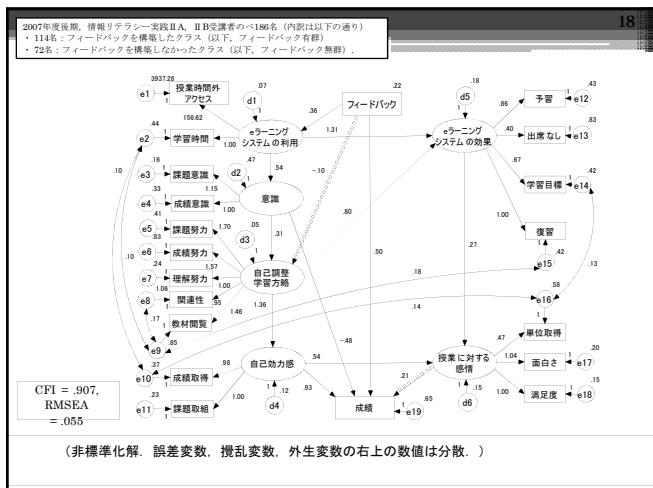
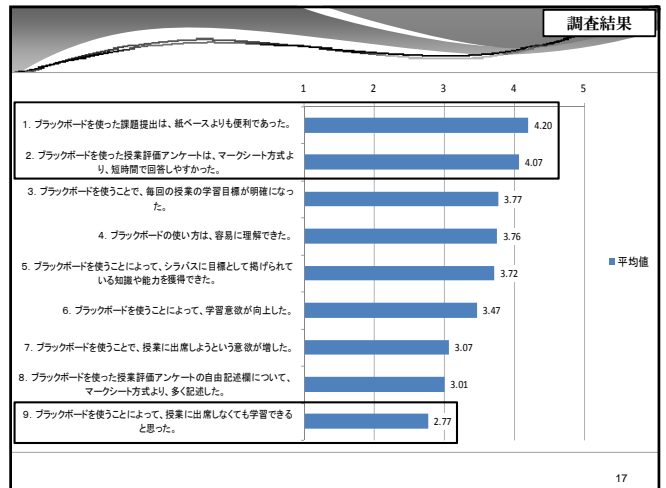
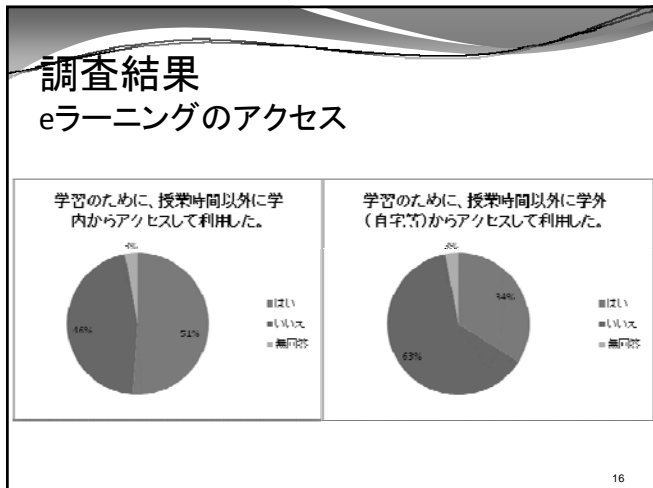


7



eラーニングの調査概要

- 調査時期
 - 2007年7月(情報リテラシー実践 I 最後の講義時)
- 調査対象
 - (人文:32名, 法:32名, 経:45名, SD:46名, 健康:33名, 再履:34名, 計222名)
 - 174名(有効回答率78.4%)
- 調査方法
 - Webによるアンケート調査



調査のまとめ

- eラーニングの利用
 - 受講生の内、約半分の学生が授業時間外に利用していた
- eラーニングの認識
 - 課題提出、授業アンケートの回答に関して、システムの利便性を感じていた
 - システムを使うことによって、授業に出席しなくても学習できるとは必ずしも思っていない
 - 対面授業も重要と認識しているのでは?
- 学習効果
 - フィードバックの有無が成績に直接影響
 - フィードバックの有無がeラーニングシステムの利用に直接影響を与え、間接的に課題意識、自己調整学習方略、自己効力感などに影響を与える